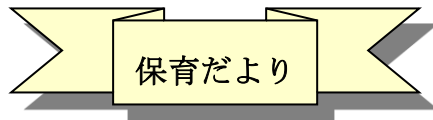


保育随想

★ 人間は良い方向に生きる！

毎日の生活の中でも、選択を迫られることは普通に起きて参ります。そして、何事にも相手があることですから、相手が譲歩してくれれば、考えを変えてくれれば、道は開けるのに、解決するのにと願うことは多々あります。相手の立場になって考えると、どうやら、そう言う思いなんだと言うことが理解できますが、思いに隔たりが大きい場合にも、衝突を避けるために自分が考えて、相手に添った道を見付ける作業で事なきを得ることは、良く出て参ります。また、周囲を見回しても、それぞれに思い思いに歩んでおりますので、意に添わないことだらけの青春時代を、そのまま生き抜いている姿にも遭遇するのですが、人は、心地よく思い通りの道を見付けて歩むものなのだ！と思えるようになるまでに、多くの経験をしなければならぬようです。進路の選択も同様です！住むところも住む家も快適さを求めて形にしようとして努力して生きています。今のままではいけない！反省を繰り返しながら続かないことを、今まで何度も繰り返して参りました。そこで、形に成らない自分の歩みを、中途半端な人生なんです！と、自分を擁護しながら人には話すのです。多くの人が言い訳をしながら生きることも実際です。当然、そんな生活の中にも、歓びや楽しさを感じられて日々がたがって参りますが、自分自身の歩みをどのように受け止めて今を生きるかは、それぞれでありましようが、努力したことも上手く行かなかったことも、その時その時の最良の判断で選択して来た私たちでありますので、自分の中で納めることも必要かと思うのです。それは、神様が居るとしたら、私たちを、その様に作ってくれたのですから、いつも正しい道ばかりでなく、悔いの残る歩みもしてきました。楽になるために修行された方は、清濁、併せ呑んで人生ですよと言う。ゆたかに生きるためには、一つの事に拘りすぎない方がいいですよと言う。その様なことを思い起こすときは、人間って、仕様が無いもんだ！自分を含めて自分を取り戻すようにして、自分なりの快適な生活の流れや形に落ち着かせているのが現状かと思えます。上手く行ったときは周囲の人の力で、思うように行かなかったときは、全て自分の責任と思い、多くの嬉しいことは周囲から貰っていることにも行きつきます。私の、上手く行かない時の気持ちの落としどころは、友人が四国の88か所の札所巡りで出会った言葉を書き写してきたものがありまして、部屋に掲げてあるもので、落ち着きを取り戻し、新たな出発にしています。以下にご紹介いたします。 丁度よい お前は、お前で ちよどよい 顔も体も名前も姓も お前に それは丁度よい 貧も富も親も子も息子の嫁も その孫も それはお前に丁度よい 幸も不幸も よろこびも 悲しみさえも丁度よい 歩いたお前の人生は 悪くもなければ良くもない お前にとって丁度よい 地獄へ行こうと極楽へ行こうと いったところが丁度よい うぬぼれる要もなく 卑下する要もなく 上もなければ下もない 死ぬ月日さえも丁度よい 収穫の秋です。11月の子ども達の生活も前向きに挑戦して参りましょう。



保育随想

★ 喜びを分かち合える！

総合活動としての発表会は、集団生活における成長過程に大きな経験となるものです。

そして、運動会の折にも申し上げましたが、幼稚園内で生活する子ども達に感染は及んでおりません。そして、お子さんを送り出して居るご家庭にも、感染のお話はございません。皆さんが感染に気を付けて生活して頂いている成果であると思います。11月まで、子ども達は、お陰様で十分な活動も行事も経験させていただきました。

近々、開催いたします発表会の経験は、成長に大きく貢献できる活動として期待をしております。子どもが自ら思うこと、考えることを出し合って形にして行く過程が、とても貴重な経験になります。自分が周囲から受け入れられる喜びは、自己評価を高め周囲を受け入れる気持ちにつながります。私たちも、自分の歩みを振り返ってみますと、多くの思い出が友達や仲間と一緒に浮かんで参ります。それも年齢が積めば積むほど鮮明に思い出され、自分の歩みに彩を添えてくれます。幼稚園時代は、遊びを通して学び育ち合います。19歳になった卒園生の男の子が、僕の今までで幼稚園時代の生活が、一番楽しかったよ！と、お母さんに話してくれたそうです。幼稚園生活を自ら生きてくれた人として、嬉しくお聞きしました。一生懸命やれたこと、共に切磋琢磨して競い合い努力して来た人たちは、その後の人生の折々に自分を奮い立たせる存在に成ったり、相手の健康を自分の事として心配したり、生涯支え合える存在にも育ちます。心情を吐露する友が居る。それぞれの道に進み、自立してからの友が居る。人生において喜びは、沢山あります。一人で趣味に没頭できることも大切な喜びです。今一つには、語れる家庭や友が居ることは、自分を見つめるとき、自分のしたことを評価してくれる存在として必要不可欠な人です。幼稚園は、何かが出来るとなることよりも、目の前の環境に、意欲的に関わって行こうとする気持ちを育てることが大事なところなので、早いうちから、ある領域に特化して習得させるより、これから出会うであろう、あらゆることに臆することなく興味を抱ける心を宿したいものです。幼児期は沢山の事に興味や関心を抱ける器を広げる時期なのです。出来るだけ偏りがなく、初めての事にも拘らずにやってみる精神が、その後の生活が自由に、生きることに苦手意識を抱かずに生きられることは、容易に想像できます。それには、周囲の力が必要なのです。共に喜んでくれる人が必要なのです。共に喜んでくれる家族が必要なのです。褒めて育つ！という精神と言葉は、育てる原点であろうと思います。それは、言い換えれば喜びを分かち合ってくれる人なのであります。成人した私たちは、心情に寄り添う心掛けをしながら、社会生活を営み人間関係を深めて生活しております。幼稚園時代は、その喜びを分かち合う体験を積み重ねております。この発表会を通して、生きる上で大切なことを学んでくれることでしょうか。発表会がとても楽しみです。



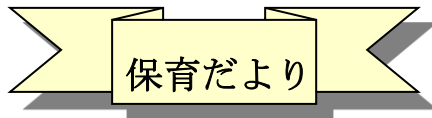
保育随想

★ 希望！

新型コロナの感染への警戒で、世界中が大混乱の一年になりました。それぞれのご家庭が感染に気を付けながら生活をして頂いたお陰で、幼稚園の子ども達は元気に、生活を送って参りました。二学期を振り返りましても幼稚園内の活動は、手洗い、うがいの励行が進む中で従前と同じように、運動会、発表会、クリスマス会、毎月のお誕生会、そして、120kgに及ぶ餅つきも実施させて頂きました。また園外での活動においても、稲刈り、さつまいも掘り、みかん狩り、ネーブルパーク、川口グリーンセンターへの遠足、そして、定期的に東部スポーツでのスイミングまで、子ども達の生活は元気いっぱいでした。二学期は、季節の変化が目に見えて感じられ遊び込める学期でありました。日々の生活の中でも細やかな心遣いがあり、総合活動の運動会や発表会でも育ち合えた経験を積み上げた子ども達に、今、何が残って居るのでしょうか。ご家族の皆様のご理解を得て、世の中の心配をよそに、この時期にしか経験できないことを十分に出来た二学期であったように思います。

子ども達の生活は、どんな場合にも楽しみを見出す力が備わっているようです。多くの事の手助けを求めているように思われがちですが、一瞬立ち止まって考えるのですが、諦め良く次の事を考える思考は見事だと感じます。捨てるものは、すぐに捨てられるのです。そして、じゃあ別の方法！遊びの流れは滞りません。工夫して遊びを創り出す毎日ですから、限られた環境の中でも、遊びを見付けるのです。遊びの楽しさを知って居る、味わって来た人達ですから、立ち止まらず前に前に進んで行けることでしょう。子ども達への願いは限りなくありますが、それぞれが目の中の事に、楽しみながら取り組める歩みがスタートかと思えます。それは友達のを借りて、遊べる環境を活用して、そして、お家の人の応援を頂いて歩めるものです。一生懸命やると楽しい！一緒にしてくれる友達が居ると楽しい！共に暮らす家族や先生の応援が嬉しい！それらが、二学期の毎日でありました。二学期は沢山遊べました。明日も幼稚園に行って遊びたい！そんな笑顔や心情がうかがえる子ども達の生活も、明日から少しの間お休みになります。社会の事象の流れの中で、家庭で学び感じる期間になることでしょう。お家の人のお話が最大の情報源になります。世の中の習慣もこの時期に体験できます。吸収力の大きな子ども達ですから、きっと、冬休み期間の生活も自分のものにして行くことでしょう。成長は心の育ちと共に連続しています。心地好い生活の中で育つものが沢山あります。普通の日常の繰り返しの生活の中で育つものがあります。安心した心持の中でも、静かに育つものがあります。

私たち大人は、子ども達より幾らかの見通しや予測をして生きて行けます。バランスも考えて生活もしております。子ども達は一日一日、その時が全てですから、全力で事に当たります。年の瀬を迎えて、自分の一年を思い起こせるのはこの時期、そして新しい年を考えるのもこの時期かも知れません。子ども達のように、いつも前向きに、希望を抱いて新しい年が、充実と幸せの感じられる年になりますようお祈りいたします。



第9号
令和3年1月29日
庄和すずらん幼稚園

保育随想

★ 季節は変わる！

年末の気忙しさから、新年に向けての期待や希望を抱いてお正月も迎えられて、令和3年に入りました。昨年の今頃から、中国から発生したコロナ菌の感染拡大が私たちの生活の意識を一変させてしまう事に成ることまで想像が出来ませんでした。日々の生活はもとより世の中の活動の全てが、感染防止の対策を取らざるを得なくなり、行われて来た殆どの行事が中止または延期の状況に追い込まれて来た一年でありました。連日、感染者の人数が報じられ、感染拡大の為の施策が報じられる中で、お仕事は兎も角、家庭生活での目に見えぬコロナ禍での生活は、活動にも制限が掛り、終わりの見えない生活を強いられて来ております。

リモートとかテレワークなどの仕事体系も、それぞれのお立場で功罪は別にして、当然の流れとして形付いておりますのも、コロナ禍での生活になりました。身の回りから、ひしひしと自分の方に迫って来るコロナ感染の怖さを感じながらの生活に、私の近所に住むお年寄りの方が、こりゃ、戦争だね！あの時と似てるね！という話を聞かされました。始まりが有れば終わりが有るものです。ワクチン接種の行き渡りが終息の目途として、私達も期待をしたいと思います。言ってみれば、そんな戦時下の生活ではありますが、確実に自然は移り変わっております。地球も回っております。年々歳々花相似たり、歳歳年年日と同じからずと詠われて参りました。地球の上では、今回のようなコロナの大騒動が起きておりますが、一方では、冬来たりなば春遠からじ、草木も花の開花の準備も進めているのです。私達も少し先の世界があることを思い、この時期を過ごして参りましょう。

毎年、この季節を迎えるたびに思い起こされる歌があります。それは、早春賦です！

春は名のみ風の寒さや、谷のウグイス歌は思えど、時にあらうずと 声も立てず
時にあらうずと 声も立てず
氷解け去り葦は角ぐむ さては時ぞと思うあやに 今日もきのうも雪の空
今日もきのうも雪の空
春と聞かねば知らでありしを 聞けば急がる胸の思いを いかにかせよとのこの頃か
いかにかせよとのこの頃か

寒村に立ち山並みに目向けて、木立の陰に生きる小さな生きもの息遣いにまで心が行く感性に感動するのです。一つ一つに丁寧に気持ちを込めるとき、果てしなく広がる世界も見えて来るのでしょうか。目の前のことに追われる日々ですが、命の歩みはこれからも続くのであります。今までの自分の歩みに立ち返り、これからの歩みに彩を添えるのも自分でありませぬ。口癖のように、大丈夫！大丈夫！唱えて生きて参りませんか。園庭で遊ぶ子ども達は守られています。私達も同じようにいろいろな人に守られていることに感謝して。

保育随想

★ 卒園に寄せて！

初めての事ばかりの一年でした。当然といえば当然のことですが、今まで予定したり計画を立てたことも、大きな目に見えないコロナ感染への脅威は、実施の形を変えたり中止をして感染防止に努めて来た一年でありました。まだまだ途中経過ではありますが、皆様と心同じくして生きてゆく道を模索した一年でもあったかと思えます。社会的には、7月に延期された東京オリンピックの開催に向けて努力されている多くの方々や、開催に向けて人生を掛けて努力されているであろう多くの選手の方々も、一方で開催されるとしても今までのような形では実施が難しいことは、どなたもが考えるところであり心配は尽きません。

私たちの身の回りの毎日におきましても、生活様式まで変化して来て、慣れさせられて当たり前のように過ごしつつあります。このような生活をする子ども達は、良いことも沢山ありますが何といても、自由に戸外で活動する運動量の不足は、その道の学者の方が言っておられる様に、自分の体重の負荷で、筋力は発達します。身体を動かさず事で心肺機能も呼吸器機能も発達します。そして、知的な発達も叶うものです！言う戸外遊びの大事さを唱えられて居ますが、叶わないことが大なる心配な部分です。体と心の成長は、その時代その時代に必要不可欠な生活が有るわけです。取り分け就学までの成長は、成人の人の何倍もの速さだと言われております。全国民の歩みでありますので勿体なくも残念な現実であります。

昨年1月来、コロナ禍の中で、幼稚園で出来る活動と環境作りを考えて参りました。

1月当初から感染していない子ども達の集団、そして、そのお子さんを送り出しているご家庭の方々に限定して行う幼稚園活動を基軸に、園外活動においても受け入れる施設の方との打ち合わせを十分にして実施して参りました。どなたも自分を軸に物は考えますので、春日部市内にも感染者数が増えて来る知らせは、気持ちの上でも心配は増幅して参ります。

園内では、冷え込む日にも本当に園庭でも室内でも、よく遊んでくれる！と言うのが実感であります。全体で集まる行事は、お誕生会、お別れ会、そして卒園式に成りますが、この一年の経験を生かして、手洗いと換気に配慮して、子ども達の貴重な生活の一ページとして実施して参りたいと思えます。保護者の皆さまに守られて出来る幼稚園生活の数々であります。幸いにも、保護者の皆様に於かれましても、お勤め関係、学校関係、そして地域からの感染も聞かれず何よりの一年でございました。これも感染に気を付けられた結果かと敬意を表します。私たちは、家庭にあっても社会にあっても子ども達の健やかな成長を共に願うものでございますので、この非常事態に変わらずの緊張感をもって過ごして参りたいものでございます。お陰様で、身体の成長と共に心の成長を遂げる一年でもありました。何よりも嬉しいことです。改めて一人一人には生きる力が宿っていることを感じます。はい、手を洗って！うがいして！は、これからの習慣に成って行くことでしょう。お陰様で子ども達の生活は、思うように、思いっきりの充実した生活が送れました。これから先も豊かな心の成長と共に楽しみながら、社会に必要とされる人生の始まりを体験できた一年であったと思えます。